

森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス(東京・麻布台ヒルズ)

チームラボボーダレス、「Light Sculpture - Flow」の作品空間を

7月8日(水)から再オープン。

同空間にて新シリーズ作品群を展示する特別展

「宇宙の非対称性について」を10月8日(木)まで開催。

森ビル株式会社とアートコレクティブ・チームラボが手がける、東京・麻布台ヒルズの[森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス](#)(以下、チームラボボーダレス)では、「Light Sculpture - Flow」の作品空間「Asymmetric Universe」を、2026年7月8日(水)から再オープンします。

また同作品空間では、再オープンを記念して、新たな2つのシリーズ「Asymmetric Existence / 非対称性存在」と「Chromatic Existence / 色彩性存在」を展示する、特別展「宇宙の非対称性について」を開催します。会期は、2026年7月8日(水)から10月8日(木)を予定しています。

新たな2つのシリーズ

Asymmetric Existence / 非対称性存在

Asymmetric Existence は、実空間にのみ現れ、ミラーには映らない光の彫刻と、ミラーの中にのみ現れ、実空間には存在しない光の彫刻が、一体となったひとつの彫刻である。

本来、ミラーは実空間を対称的に映す。しかしここでは、実空間と鏡像空間は、対称関係にはない。二つの光の彫刻は、それぞれ異なる空間に非対称に現れながら、鑑賞者の認識の中で、ひとつの彫刻的存在として立ち上がる。

ミラーの面は、単に実空間を対称的に反射する境界面ではなく、実空間と鏡像空間に現れた存在を接続する場となる。Asymmetric Existence は、彫刻を、実空間に閉じた物体から、実空間と鏡像空間を横断し、認識の中で統合される存在へと拡張する試みである。



チームラボ「Asymmetric Existence」シリーズ © チームラボ



チームラボ「Asymmetric Existence」シリーズ © チームラボ



チームラボ「Asymmetric Existence」シリーズ © チームラボ

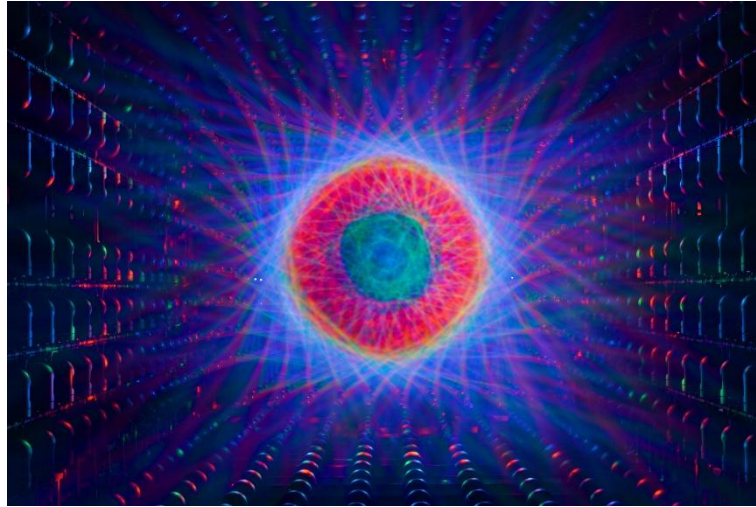


チームラボ「Asymmetric Existence」シリーズ © チームラボ

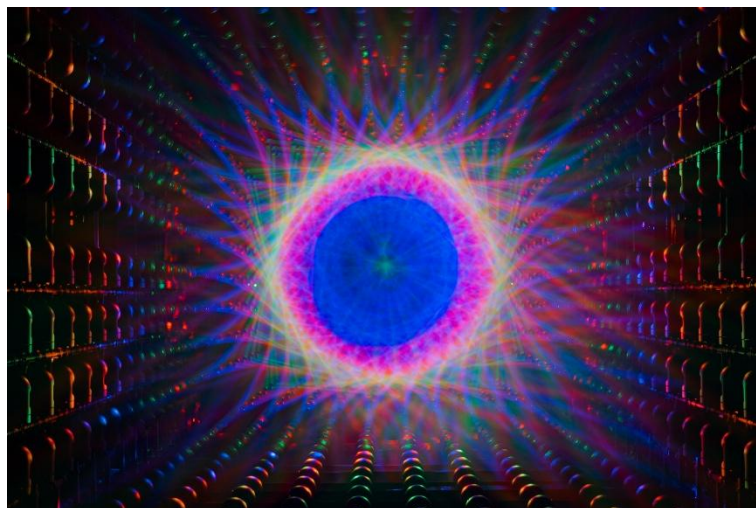
Chromatic Existence / 色彩性存在

赤、緑、青の色が空間の中で流れ、色そのものが秩序を構成するとき、そこに色彩の彫刻が立ち上がる。

ここでの彫刻は、物体としての彫刻ではなく、色の秩序によって生み出される、物質的な境界面を持たない空間的存在である。



チームラボ「Chromatic Existence」シリーズ © チームラボ



チームラボ「Chromatic Existence」シリーズ © チームラボ

Light Sculpture - Flow

海の渦の内側と外側は、同じ水でできている。そこに物質的な違いはない。それにもかかわらず、なぜ私たちは海の渦に一つの存在を感じ、そこに生命すら感じるのか。

渦の内側と外側を分けているのは、物質の違いではなく、秩序の違いである。流れの中に秩序が生まれるとき、物質的な差異や境界面がなくても、そこに存在が立ち上がる。

Light Sculpture - Flow では、流れ続ける光線群が空間の中で秩序を構成するとき、そこにひとつの彫刻が現れる。

ここでの彫刻は、物体としての彫刻とは異なる。物質的な境界面によってではなく、流れと秩序によって立ち上がり、人々の存在やふるまいの影響も受けながら、動的に変化する。身体との境界も曖昧な空間的存在である。

Light Sculpture - Flow は、彫刻を、固定された物体から、流れと秩序によって立ち上がる、物質的な境界面を持たない空間的存在へと拡張する試みである。

チームラボボーダレスについて

チームラボボーダレスは、アートコレクティブ・チームラボの境界のないアート群による「地図のないミュージアム」です。アートは部屋から出て移動し、他の作品と関係し影響を受け合い、他の作品との境界線がなく、時には混ざり合います。チームラボボーダレスはそのような作品群による境界なく連続する1つの世界であり、来館者は境界のないアートに身体ごと没入し、「境界なく連続する1つの世界」のなかを「さまよい、探索し、発見」する唯一無二の体験ができます。

さらに、チームラボボーダレスは、米国の国際的なニュース雑誌、TIME 誌の「World's Greatest Places 2024 (世界で最も素晴らしい場所 2024 年度版)」に選ばれています。

《ミュージアム概要》

施設名称 : 森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス

<https://www.teamlab.art/jp/e/tokyo/>

所在地 : 麻布台ヒルズ ガーデンプラザ B B1(東京都港区虎ノ門5丁目9)

(麻布台ヒルズ <https://www.azabudai-hills.com>)

開館時間 : 8:30 - 21:00

*最終入館は閉館の1時間前

*開館時間に変更になる場合がございます。公式ウェブサイトをご確認ください。

*7.31(金)は17時閉館(最終入館16時)、8.8~8.15は22時閉館(最終入館21時)

休館日 : 7.7(火)、7.15(水)、8.25(火)

*変更になる場合がございます。公式ウェブサイトをご確認ください。

チケット価格 : 大人(18歳以上):3,600円~

学生サマーパス(大学生・大学院生・短大生・専門学校生):3,000円

学生サマーパス(中学生・高校生):2,000円

子ども(4-12歳):1,500円

3歳以下:無料

障がい者割引:1,800円~

*事前日時指定予約制です。

*学生サマーパスは7月18日(土)~9月18日(金)の期間限定で利用可能なパスです。販売期間は公式ウェブサイトをご確認ください。

*大人と障がい者割引につきましては変動価格制を導入しています。

日時別の価格をご確認の上、日時指定チケットをお買い求めください。

*現地での購入の場合、上記価格に+200円となります。

チケット購入 <https://www.teamlab.art/jp/e/tokyo/>

プレスキット <https://www.dropbox.com/sh/ktiauv5xq8s0jzr/AAASjm3y4EKWTqRidKoLuCM5a?dl=0>

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル デジタルアート ミュージアム:エプソン チームラボボーダレス 広報事務局
(共同ピーアール株式会社内)

担当:村上(090-5553-2117)、星島(070-4303-7249)、安田(090-7909-5164)

EMAIL: borderless-pr@kyodo-pr.co.jp